



あさかわ かんいち  
**世界的歴史学者 朝河 貫一 (1873~1948)**



明治6年(1873年)12月20日旧二本松藩士朝河正澄・ウタの長男として、二本松町下ノ町新長屋(現二本松市根崎)に出生。翌年、立子山(現福島市)に移住し、20年(1887年)福島尋常中学校(のち安積中学校に改称)に入学した。在校中の成績は全学年を通じて常に1位を占め、毎日、英和辞典を2ページずつ暗記しては食べるか破り捨て、残ったカバーを校庭の隅の若桜の根元に埋めたというエピソードを残している。

28年(1895年)東京専門学校(現早稲田大学)を首席で卒業。同年12月、アメリカ留学のため、横浜港を出航した。

翌年1月ダートマス大学に編入学、卒業後はイエール大学大学院に入学。優秀な成績を修め、35年(1902年)論文『日本における初期の制度的生活、645年改革の研究』で哲学博士の学位を授与された。そののちダートマス大学講師に迎えられ、東西交渉史の講義を担当した。

37年(1904年)『日露衝突』を刊行し、日露戦争における日本の正義を英米国民に説き、翌年日本側のオブザーバとしてポーツマスにおける日露講和会議に出席し妥結を主張した。この年、ミリアム・

J・キャメロン・ディングウォールと結婚をしている(8年後死去、以来独身)。

滞米54年間のうち、36年間はイエール大学に奉職し、昭和12年(1937年)日本人として初めて同大学の正教授となり、17年に定年退職して名誉教授になるまで西洋中世法制史を担当し東西封建制の比較研究で前人未到の境地を開拓した。一方、国際関係論にも優れ、世界的視野と日本国民の幸福という観点に立ってなされた祖国日本への警鐘は数多く、特に日米開戦の危機の前に立ちはだかつて天皇に送るべき米国ローズヴェルト大統領親書の草案に熱意を込めたことは、偉大な愛国者であったことを物語っている。開戦後、米国は博士の学績と思想に敬意を払い、その自由を保証している。

23年(1948年)8月11日、74歳の生涯を終えた。その訃報はAP電・UPI電を通じて「現代日本がもった最も高名な世界的学者が逝去した。」とその死を悼み世界の隅々まで打電された。さらにイエール大学は告别式を挙行、博士はニューヘイヴン市グロウヴ・ストリート墓地に葬られた。また、市内金色墓地にも博士夫妻の墓が建立されている。



二本松ふるさと人物史  
 二本松市ウェブサイト

**二本松警察署からのお知らせ**

犯罪発生状況(令和4年1月~5月末)

	二本松地区	安達地区	岩代地区	東和地区	合計	前年対比
侵入盗	1				1	-1
空き巣						
出店荒し						
その他	6	1		1	8	6
非侵入盗	1	6			7	-21
車上ねらい			1		1	-1
その他		5	1(1)		6(1)	-3
自転車盗						-1
器物損壊	5(2)				5(2)	-1
住居侵入		1		1	2	1
その他	6(1)				6(1)	-2
合計	19(3)	13	2(1)	2	36(4)	-23
前年対比	-3	-17	-4	1	-23	

※( )は5月の発件数



**地域で子供の見守りを!!**  
 日常生活の中、気軽にできる「ながら見守り」活動の協力をお願いします。



**注意!! カードをだまし取る犯罪被害増加**

「還付金がある」「あなたの口座が犯罪に使われている」などの言葉で不安をおおひ、「新しいカードとの引き換えが必要」と言い、別の者がキャッシュカードを預かりに訪問し、預金口座から現金を引き出されてしまう被害が増えています。

**不審な電話があったら、すぐに警察に相談を!**

**POLICEメールふくしまに登録されましたか?**

警察から身近な犯罪の発生情報、なりまし詐欺被害防止情報、不審な情報をメール配信しています。また登録していない方は是非登録をお願いします。



登録専用アドレス(QRコード、または pmf01@uh28.asp.cuenote.jp) に空メールを送信してください。

二本松警察署電話 23-1212